

競技上の注意事項

1. 招集・棄権及びリレーオーダーの届け出について
 - 1) 密を避けるため、招集所への集合時間を競技の10分前とし、それ以外の選手は、招集所付近も含め待機を禁止する。招集所へ入ることのできる選手は、ADカードに記載された該当レースに出場する選手のみとする。
 - 2) 棄権の場合は、レース開始予定時刻の30分前までに棄権届出用紙に必要事項を記載の上、招集に届けること。
 - 3) リレーオーダーの提出は、レース開始予定時刻の1時間前までにリレーオーダー用紙に必要事項を記載の上、招集に届けること。なお、各所定の用紙は3階受付にてお受け取りください。
 - 4) 招集所でビニール袋を受け取り、脱いだ衣類等をすべてビニール袋に入れ、自レーンのカゴにおくこと。
2. スタートについて
 - 1) スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。
 - 2) 聴覚障がい選手のスタート合図は、笛や発声による音声での合図の部分については、出発合図員の動作により表現するので、出発合図員に注目すること。(手話通訳はつかない。)
 - 3) 聴覚障がい選手のスタートは、光刺激式スタート合図システムを使用する予定である。システムの不具合等が発生した場合は、ハンドシグナルとフラッシュライトにより行う。
3. 退水について
 - 1) 全選手が泳ぎ終わるまで自分のレーンで待機すること。待機した選手は、全選手が泳ぎ終わった後、審判長の2回のショートホイッスル後、0～4レーンの選手は原則として1レーン側のプールサイドから、5～9レーンの選手は原則として9レーン側のプールサイドから退水すること。
 - 2) 聴覚障がい選手は、役員の退水合図があるまで自分のレーンで待機すること。退水の合図後、0～4レーンの選手は原則として1レーン側のプールサイドから、5～9レーンの選手原則として9レーン側のプールサイドから退水すること。
4. 表彰について
 - 1) レース終了後、クラスごとに3位入賞者までにメダルを授与する。ただし、競技者が3名の場合は1位・2位、競技者が2名の場合は1位のみ、競技者が1名の場合は1位にメダルを授与する。(メダルの郵送は行わない。)
 - 2) 完泳した選手は記録証を受付で受け取ること。(記録証の郵送は行わない。)
 - 3) 身体障がい・聴覚障がいの選手にはメダルは授与されず、記録証のみ授与する。
5. 記録速報の掲示
記録速報の掲示は原則行わない。
日本知的障害者水泳連盟のホームページ(「リザルト&ランキング」⇒2024年度リザルト)に随時アップロードする。
6. 抗議について
競技中に発生した事柄に関する抗議は、発生後30分以内にそのチームの監督または代表者が抗議書に必要事項を記入の上、抗議料30,000円(現金)を添えて文書を受付に提出すること。
7. 前日練習会について
6月29日(土) 13:00～16:00 受付12:45～、最終退館16:30
8. アンチ・ドーピング、水着・所属表示等について
プログラム及び、日本水泳連盟のホームページにて確認すること。
9. 国際登録選手の記録公認について
IPCのライセンスプログラムに基づき、WPSライセンス登録をした選手は、WPSへ記録を報告する。
10. YouTube 配信について
6月30日(日) 9:45～ 下記URLの日本知的障害者水泳連盟・公式チャンネルにて配信する。
<https://youtube.com/live/EszsU8-jm1Y?feature=share>
11. その他
 - 1) 会場における事故等については、応急処置のみとし、その他の責任は負わない。
 - 2) 室温は25度～27度位、水温は28度位とする。
 - 3) 大会終了後、引き取りがなかった記録証については主催者で処分するので、必ず持ち帰ること。
 - 4) 忘れ物については、競技終了後に処分する。